

# 【日本医科大学付属病院 がん化学療法レジメン】

『無断転載禁止』

レジメン番号： SCLC-118

対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応	催吐 リスク	根拠
小細胞 肺がん	Durvalumab + CDDP/ETP	21日間	4+ $\alpha$ コース	<input checked="" type="checkbox"/> 進行/再発 <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 放射線併用化学療法 <input type="checkbox"/> その他	高	Lancet 394: 1929-39, 2019

## <注意事項/備考>

- ✓ スケジュール：4コース施行後、PDや毒性による中止まで、Durvalumab単剤を継続
- ✓ Durva：院内マニュアルに基づいて、治療開始前、投与中（定期的）、症状発現時の検査が必要
- ✓ ETP：調製時間に注意（調製後、長時間放置にて結晶析出）
- ✓ CDDP：腎毒性軽減目的にMg投与
- ✓ CDDP：アミノグリコシド系抗菌薬の併用で腎機能障害のリスク増大。尿量、体重の変化に注意し、必要に応じて利尿薬などを検討
- ✓ 聴力障害（CDDP）：総投与量300mg/m<sup>2</sup>以上で高音域の聴力低下、耳鳴りなどの発現↑

:»



]